

もっと元気 ずっと追求 ずっと行動

とみた幸樹を

TOMITA KOKI

令和8年
4月号

motto

「もっと」



- 役職**
- ・唐津市軟式野球連盟理事(審判部副部長)
 - ・自民党佐賀県連政務調査会長(R7.4~)
 - ・地域交流県土整備常任委員長(R7.4~)

- 略歴**
- ・昭和36年9月24日生まれ
 - ・唐津市議会議員(H25.2~H31.2)
 - ・佐賀県議会議員(H31.4~)
 - ・農林水産商工常任委員会副委員長(R4.4~)
 - ・地域交流県土整備常任委員長(R5.4~)
 - ・文教厚生常任委員長(R6.4~)

議員活動



紀元2686年 建国祭
 県内各地域で建国祭が執り行われ、日本国の誕生をお祝いし、日本人の誇りを再認識し、美しい日本、豊かな日本を孫たちに繋いでゆきたいものです!(R8.2.11)



地元小学校卒業式に参加



相知消防団瓦落し競技大会



名護屋城発掘状況視察 前田利家陣跡
 新たに発掘された遺構の調査状況

佐賀県唐津市の名護屋城跡で、前田利家の陣跡から大規模な堀とみられる遺構が新たに確認されました。陣跡ながら城郭のような構えを持っていた可能性があり、当時の前田利家の高い地位を示す発見として注目されています。(R7.12.9)



新幹線西九州ルートシンポジウム

地域の思いに寄添います!

これからも、地域の皆さんに思いに寄添い唐津・玄海地区と佐賀県の発展のため、国会議員・市町議会議員の皆様と地域の課題解決のため、県政とのパイプ役として議員活動を推進してまいりますので、ご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。



今坂川第三砂防堰堤工事の進捗状況視察(R7.9.25)

motto とみた幸樹会報
とみた幸樹事務所
 〒849-3231 佐賀県唐津市相知町牟田部865-1
 TEL/FAX 0955-62-2570
 E-mail:kouki-93@vc.people-i.ne.jp

motto もっと!
 皆さんの声を聞かせてください!

とみたこうき 検索
 koukitomita.com

f 富田 幸樹





皆様には、日頃より
ご指導いただきありが
とうございます。

令和7年4月より再度、
地域交流・県土整備常任委
員長を拝命し、さらに自民
党佐賀県連政務調査会長に
就任し、多忙な日々を過ご
しており、2月定例議会で
は、会派を代表しての質問
という大役を終えました。



2月定例議会 会派代表質問 質問と回答

令和八年二月

県政運営の 基本方針について

知事の三期目3年間を振り返ると、コロナ対応や危機管理、新たなテーマへの挑戦など、評価できる点はある。

一方で、九州新幹線西九州ルートの議論が進んでいないことや、「現場」「ミッシヨン」「プロセス」を大切にするとしながら、その思いや施策の成果が県民に十分伝わっていない面もあるのではないかと感じている。
三期目3年間の県政運営をどのように総括し、残る任期1年をどのような方針で運営していくのかお伺いします。



山口知事答弁

私は知事就任以来、人を基軸に据え、現場を重視しながら、県民の声や議会の議論を踏まえて県政を進めてきた。
三期目では、コロナ対応や豪雨災害、家畜防疫などの危機管理に取り組み一方、観光や企業支援、SAGAアリーナを核としたまちづくりなど、将来に向けた取組も進めてきた。

今後も「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり。」の理念の下、県民と力を合わせて県政を前へ進めたい。

県立大学について

県立大学構想は、県民の賛成が過半数に届いておらず、理解が十分進んでいるとは言えない状況。

また、本来の目的である若者の県外流出防止や県内就職の促進に向けたデータも十分示されていないと思う。こうした中で建設費を盛り込んだ予算案提出に進むのではなく、一度立ち止まって県民の意見を確認すべきではないか。



山口知事答弁

県立大学は、若者だけでなく全ての世代に開かれ、地域経済を支える人材育成や地域の知の拠点となる大学として必要だと考えている。
また、AI時代を見据え、自ら考え、実践し、挑戦できる人材を育てることが重要であり、その役割を担う大学にしたいと考えている。
地域で育て、つくり、生かす大学として、今後も意見を受け止めながら準備を進めていく。

九州新幹線 西九州ルートについて



山口知事答弁

新鳥栖―武雄温泉間の議論は長年進んでおらず、その間にも物価や人件費が上がり、時間だけが過ぎていく状況であり、財政負担、ルート、在来線の利便性低下といった課題を整理しながら、より具体的に議論を進めるべきではないかと考える。
今後どのように議論に臨むのか伺う。



山口知事答弁

この問題は、財政負担、ルート、在来線などを多面的に考えなければならぬ難しい課題。
特に、今のスキームのままフル規格整備を行えば、県の財政に大きな負担が生じ、県政運営上受け入れられないと考えている。

その一方で、議論を止める考えはなく、国とも意見交換を重ねながら、今後も冷静に幅広く議論を続けていく。



女性に選ばれる 佐賀県の実現について



山口知事答弁

若い女性の県外流出は、将来の出生数や地域の活力にも関わる大きな課題だ。
進学や就職だけでなく、固定的な性別役割分担意識など、社会環境の問題も背景にあるのではないかと考える。

佐賀で働き、暮らし、自己実現できる地域となるため、今後どのような施策を進めるのか。



山口知事答弁

女性が働く環境整備は進んできた一方で、家事、育児、介護の負担の偏りや、制度利用への理解不足など、なお課題がある。

社会資本整備 について



山口知事答弁

広域幹線道路ネットワークは、県民生活や地域産業を支える重要な基盤であり、災害時には命をつなぐ役割も担っている。

一方で、西九州自動車道、佐賀唐津道路、有明海沿岸道路などには、ミッシングリンクの解消や四車線化など、多くの課題が残されている。
今後、広域幹線道路ネットワークの整備促進にどのように取り組んでいくのか伺う。



山口知事答弁

佐賀県では、地域や空港、港湾を結ぶ広域幹線道路ネットワークが、県全体の成長を支える重要な社会資本であると考えている。

有明海沿岸道路、佐賀唐津道路、西九州自動車道などについては、重点区間の整備や接続強化を着実に進めている。

有明海沿岸道路では福富鹿島道路、佐賀唐津道路ではTゾーンや佐賀ジャンクション、西九州自動車道では伊万里港周辺の物流機能強化とあわせた整備を進めている。
今後、国と連携しながら、人と物の流れを支える道路ネットワークの整備を進める。



産業の振興 について



山口知事答弁

県内企業は、物価高騰、人手不足、人件費増、社員の高齢化、技術継承など多くの課題に直面している。

今後の地域経済の発展のためには、賃上げ、生産性向上、起業家支援、技術継承などを総合的に進める必要があると考える。
今後どのように産業振興に取り組むのか伺う。



山口知事答弁

地域経済を取り巻く環境が大きく変化する中、付加価値の高い産業集積と人材確保が重要だと考える。
物価高騰対策や中小企業支援として、賃上げや生産性向上、価格転嫁支援、職場環境整備などに取り組んでいる。

また、スタートアップ支援や女性の起業支援、技術継承に向けた人材育成や体験型事業なども進め、県内産業の持続的発展につなげていく。

農林水産業の 振興について



山口知事答弁

佐賀県の農林水産業は、県土の大部分を占める豊かな農地や森林に加え、県北部の玄界灘と県南部の有明海といった恵まれた自然環境を基盤に、地域の暮らしと経済を支える重要な産業である。

米や麦、園芸作物など多様な農産物は全国的にも高い評価を受けており、森林は水源涵養や災害防止など多面的な機能を果たしている。また、水産業では、玄海と有明海という特徴が大きく異なる二つの海が多様な魚介類を供給し、地域の食文化も支えている。

一方で、燃料や肥料、飼料などの生産資材価格の高騰によるコスト増加に加え、地球温暖化などの影響による生産性の低下、担い手の減少や高齢化が進み、農山漁村の活力低下が大きな課題となっている。

農業では中山間地域の米づくり、林業では「サガンスギ」への植え替えと県産木材の利用拡大、水産業では気候変動に対応した漁場環境の改善が求められている。

このような中、本県の農林水産業を持続的に発展させるため、今後どのように取り組んでいくのか伺う。



山口知事答弁

農林水産業は、県民の生活に欠かせない食料や木材を生み出すだけでなく、県土保全や水源涵養にも重要な役割を果たす、佐賀の地域に根差

